

2020(令和2)年度 第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
議 事 概 要

1. 日 時

2020(令和2)年5月21日(木)～6月8日(月) ※書面開催

2. 委 員

別紙名簿

3. 協議事項

(1) 2019(令和元)年度決算、2020(令和2)年度予算(案)について

・ 異議の有無

異議なし 19名

異議あり 0名

・ 意見等

提出なし

・ 結果

承認

(2) 廃止代替バスに係る生活交通確保維持改善計画(案)について

・ 異議の有無

異議なし 19名

異議あり 0名

・ 意見等

提出なし

・ 結果

承認

4. 報告事項等

(1) 伊賀市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

・ 意見等

○ 進捗の遅い項目に対するフォローをどのようにしていくのか、議論が必要です。

○ 令和元年度に再編を行った路線、2年度以降に検討していく路線について、事業者の視点からも引き続き検討していきます。

○ 施策番号35 コミュニティバス等を Google Map (グーグル マップ) で検索できるよう取り組み、アフターコロナ・ウィズコロナの利用促進 (いわゆるマイクロツーリズム等) につなげては。

- 施策番号43 新型コロナの心配がない安全な乗り方（換気、目鼻口に触らない、静かにする）を周知し、車に移った客を取り戻しては。
- 準基幹バス桐ヶ丘線は生活エリア内で評価している。課題はバスの小型化。
- 青山行政バスは、年々利用者が減少している。青山支所の移転に伴うルートの変更が必要。
- コンパクトシティ、「小さな拠点」といったまちづくりの観点からも考えていきたいと思います。

(2) (仮称) 第2期伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について

・意見等

《計画の構成(案)について》

- 「6. 計画の推進体制」において、どのタイミングで進捗を確認、検証し、計画や目標の見直しが必要なのかどうかを判断することを追加してください。
- 今後も交通事業者として積極的に協力していきます。
- 第1期計画の総括があってもよい。
- 背景、目的、位置付け等は、もっと具体的に。
- 策定方針は、簡潔に説明的な記述を望みます。
- 第2期策定の体制のイメージ図がほしいです。

《ポイント1「社会動向の変化を見据えた多様な視点からの現況整理と課題抽出」について》

- 利用者のニーズだけでなく、公共交通機関側の制約事項についても現況整理と課題抽出をお願いします。
- 県内各地でも同じ様な傾向があり、課題となっています。何か参考になる施策がないかについても考えていきたいです。
- NTTドコモ「モバイル空間統計」など、位置情報ビッグデータの利用により、最新の人の動きをとらえてはどうか。500mメッシュ、年齢層ごと、居住地ごと、平日・祝日別、時間帯ごとなどにデータが取れる。
- 利用者によるアンケート等は、とても参考になります。
- 地域別のタウンミーティングの開催があればよいと思います。

《ポイント2「公共交通軸の伊賀鉄道に加え、それぞれの地域の特性を踏まえた検討」について》

- 階層間での連携深度化における課題と改善ポイントについても検討をお願いします。
- すべての時間においての鉄道とバスのアクセスは難しいですが、引き続きダイヤ設定時に検討していきます。
- 公共交通の範囲に、医療送迎サービス等を含むことも考えられる。改正活性化再生法（5月27日成立）の内容をよく吟味する必要あり。
- 通勤、通学としての伊賀鉄道は機能的である。四十九駅の整備と、観光電車としての工夫をはかる。

《ポイント3「使っていただく公共交通とするための施策検討」について》

- 安定的な輸送量の確保のためには、通学定期だけでなく通勤定期の増加が必要です。通勤者を対象とした利用促進策も検討をお願いします。
- 本年度はイベント開催自体が難しいですが、市町の行事の際にバスを持ち込んでの乗り方教室の実施や、伊賀鉄道と合同での展示などを継続して行いPRしていくことが必要だと考えます。
- まちづくり、福祉、健康、観光、教育といった関連政策分野との連携がいっそう重要になる。
- “使っていただく公共交通” この言葉大好きです。知恵を出し合うのが楽しみです。

《その他》

- 施策の検討にあたっては、費用対効果についての検証をしてください。

(3) その他

・意見等

- 市民アンケート、利用者アンケートの中には、交通事業者として耳の痛いご意見がたくさんあり反省するとともに、市民や利用者が気にかけてくれていることが分かって少し安心しています。
課題の改善には多大な労力と費用がかかりますが、費用対効果のバランスを見ながら、少しでも満足度が上がるよう取り組んでまいります。

- 本年度は新型コロナの影響で、例年になく利用状況が続いています。令和元年度に実施した大規模な再編に関する検証が非常に難しいですが、引き続き改善策を検討していきたいと思います。
- 活性化再生法が改正されたところですが、法改正にかかる内容等について調整が必要だと思います。

現時点で詳細が分かっておりません。また、コロナの影響等も出てくると思いますので、前広に調整させていただければと思います。
- 高齢者の更なる運転免許の自主返納を促進させるため、三重交通グループの乗合バスだけでなく、伊賀鉄道においても運賃割引制度を導入できないのか。
- 行政バスの回数券、定期券導入の住民への告知を複数回行う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、策定スケジュールに変更が生じるのでは？
 - ・市民アンケートや利用のアイデアを大切に生かしていく。
- 自動車での外出のリスクを減らす観点から、公共交通の利用環境を整える。
 - ・スピード化 ・車内の快適化 ・たゆまないPR
- 有償運送も含めた福祉従事者として、今後の計画策定を進めていただく際、地域公共交通の実態把握をされると思うが、我々の利用対象者も「公共交通を利用している住民」としてとらえていただきたい。「福祉従事者が担っている」ではなく、実際どの地域からのニーズが高いのか等を反映し、計画策定いただければ幸いです。（我々も国の定めたルールで活動するため、公共の位置付けで考えていただきたい。）

令和2年度 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会委員名簿

(敬称略)

	氏 名	所属団体及び役職	備 考
1	大 森 秀 俊	伊賀市副市長	
2	宮 崎 寿	伊賀市企画振興部長	
3	友 田 明 石	西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社亀山鉄道部長	
4	金 口 正 幸	近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部長	
5	藤 巻 恵	伊賀鉄道株式会社代表取締役常務鉄道営業部長	
6	川 端 邦 裕	三重交通株式会社伊賀営業所長	
7	杉 本 道 明	一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部長	
8	福 田 政 幸	三重交通労働組合伊賀支部書記長	
9	四 辻 純 也	国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長	
10	渥 美 宏	国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官	
11	富 井 和 哉	伊賀警察署交通課長	
12	野 原 真太郎	名張警察署交通課長	
13	天 野 圭 子	三重県地域連携部交通政策課長	
14	富 永 大 介	三重県伊賀建設事務所副所長	
15	辻 本 勝 久	学識経験者（和歌山大学経済学部教授）	
16	加 藤 幸 生	市民公募委員	
17	堀 田 大	いが移動送迎連絡会副会長	
18	福 澤 正 志	伊賀市障害者福祉連盟会長	
19	番 條 克 治	布引地域住民自治協議会会長	

オブザーバー

	名 称	住 所	備 考
1	国土交通省中部運輸局鉄道部計画課	名古屋市中区三の丸2-2-1名古屋合同庁舎第1号館	